

令和5年度 草花シラバス

科目	草花	年次	2	教科書	草花	年間授業時数	76時間
		単位数	2	出版社	実教出版	前期38時間・後期38時間	

学習目標

草花の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、草花の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。

主な学習内容

1. 草花生産の特徴と分類方法について学ぶ。
2. 草花の繁殖から開花、結実までの栽培技術を学ぶ。
3. 草花の利用の仕方について学ぶ。
4. 草花の生育と環境要因（温度、光、水、土、栄養）の関係について学ぶ。
5. 草花の流通について学ぶ。

授業について

草花栽培の知識・技術を身につけるためには、実際に草花を栽培しながら学習することが大切です。そのために、一・二年草（サルビア他）、宿根草（木立ペゴニア）、ラン科植物（デンファレ他）、観葉植物（アナス類、ドラセナ類他）、花卉類（ブーゲンビリア他）を教材として栽培します。観察実験の記録を取り、科学的で実践的な知識・技術を身につけましょう。

定期考査・課題・提出物

学期	前期	後期
考査	中間考査、学期末考査を実施	中間考査、学期末考査を実施
試験範囲	1. 草花の生育と環境要因 2. 草花の生育と栽培技術 3. 草花の栽培管理技術（前期教材作目）	1. 生産施設と栽培環境の調節 2. 繁殖と育種 3. 草花の栽培管理技術（後期教材作目）
提出物	授業毎のファイル、作品等	授業毎のファイル、作品等

評価の観点

観点	内容
関心・意欲・態度	草花園芸の役割や草花栽培に関心を持ち、積極的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	草花園芸の課題を科学的に捉え、考察し、判断することができる。
技能	草花の基礎的な栽培技術を身につけている。 草花の特性を活かした作品制作ができる。
知識・理解	草花園芸に関する用語の知識・理解がある。 草花の栽培技術、生育の環境要因・活用方法に関する知識・理解がある。

※ 評価の方法... 授業への積極的な参加（出席）、定期テスト（学力）、学習態度（意欲）、提出物等を総合的に評価し、成績とします。

令和5年度 草花シラバス

科目	草花	年次	3	教科書	草花	年間授業時数	76時間
		単位数	2	出版社	実教出版	前期38時間・後期38時間	

学習目標

草花の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、草花の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。

主な学習内容

1. 草花生産の特徴と分類方法について学ぶ。
2. 草花の利用の仕方について学ぶ。
3. 草花の流通について学ぶ。
4. 草花の繁殖から開花、結実までの栽培技術を学ぶ。
5. 草花の生育と環境要因（温度、光、水、土、栄養）の関係について学ぶ。

授業について

草花栽培の知識・技術を身につけるためには、実際に草花を栽培しながら学習することが大切です。そのために、一・二年草（サルビア他）、宿根草（ユリ科植物など）、ラン科植物（デンファレ他）、観葉植物（アナナス類、ドラセナ類他）、花卉類（ブーゲンビリア他）を教材として栽培します。観察実験の記録を取り、科学的で実践的な知識・技術を身につけましょう。

定期考査・課題・提出物

学 期	前 期	後 期
考 査	中間考査、学期末考査を実施	中間考査、学期末考査を実施
試験範囲	1. 草花の生育と環境要因 2. 草花の生育と栽培技術 3. 草花の栽培管理技術（前期教材作目）	1. 生産施設と栽培環境の調節 2. 繁殖と育種 3. 草花の栽培管理技術（後期教材作目）
提 出 物	授業毎のファイル、作品等	授業毎のファイル、作品等

評価の観点

観 点	内 容
関心・意欲・態度	草花園芸の役割や草花栽培に関心を持ち、積極的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	草花園芸の課題を科学的に捉え、考察し、判断、まとめることができる。
技能	草花の基礎的な栽培技術を身につけている。 草花の特性を活かした作品制作ができる。
知識・理解	草花園芸に関する用語の知識・理解がある。 草花の栽培技術、生育の環境要因、活用方法に関する知識・理解がある。

※ 評価の方法... 授業への積極的な参加（出席）、定期テスト（学力）、学習態度（意欲）、提出物等を総合的に評価し、成績とします。